



結城郡
いしげまち
石下町

面積：43.84km²
(平成6年10月1日現在)

人口：23,527人
男：11,789人
女：11,738人

世帯数：6,551世帯
(平成8年6月1日現在)

町の花
ツツジ
町の木
ウメ
町の鳥
ウグイス



石下町は県南西部に位置し、首都55km圏内に位置します。町の中央を鬼怒川が縦断し、町の東側には市街地を含む穀倉地帯が、町の西側には関東ローム層畑地や平地林が多く見られます。町では白菜、すいかななどの野菜生産が盛んで、首都圏の食糧供給基地として重要な役割を担っています。なかでも県の銘柄産地の指定を受けた「千石キュウリ」は人気を得ています。

農民文学の名作『土』の作者で、アララギの歌人でもあった長塚節は石下町の出身です。節の作に「鬼怒川を夜ふけて渡す水棹の遠く聞こえて秋たけにけり」というものがあります。この歌からは、鬼怒川とともに石下町の文化の発展の様子もうかがえます。現在でも生家には県内外から大勢の文学俳句愛好者が訪れています。

石下町は長い歴史と伝統のある町としても知られており、戦国時代の武将・豊田氏の居城があったところです。この由緒ある地に平成4年10月に「豊田城(地域交流センター)」が完成しました。これは地域住民の文化創造の場となるもので、「歴史と文化の町・石下」のシンボルとなっています。

《石下町商工観光課》

課長 清水博
主査 落合京子
主幹 小嶋美恵子



豊田城(石下町地域交流センター)にて
左：清水課長、中：落合主査、右：小嶋主幹

—石下町はどんなところですか。

清水：石下町は平将門生誕の地で8月に「石下将門まつり」が行われます。7月の「石下祇園まつり」と合わせて夏の夜の風物詩として定着しました。

また、田園都市づくりを目指すとともに、農業・商業の後継者の育成に力を注いでいます。

—みなさんの趣味は。

清水：昔は登山、今はハイキング。釣りも好きで、ヤマメを釣りに出掛けます。

落合：園芸。お花(ユリ)や野菜(トマト・ナス等)を栽培しています。

小嶋：ドライブ、食べ歩き。栃木県佐野市で食べた独特の麺はおいしかった。

—好きな色は。

清水：きみどり、若葉の色。背広はグレー系。

落合：紺。服は紺系と茶系。

小嶋：黒。服や小物も黒。でも、愛車は赤です。

—こどもの頃、ほしかったものは。

小嶋：小学生の頃、フリルのついたかわいいワンピースに憧れました。

落合：自転車。買ってもらったときは本当にうれしかった。それとテレビ。

清水：オートバイ。中古を買って乗ったときは感動しました。昔はじゃり道を疾走したものです。

—最近うれしかったことは。

落合：友人と横浜でおいしい中華料理を食べたこと。もう一度フカヒレのスープを味わいたい。

小嶋：手話を始めたのですが、自分の名前を手話で表現できたこと。

清水：現在建設中の東京湾横断道路を船上から見て、技術の進歩に驚かされました。